



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 河内 正美 (TEL) 0277-54-7101
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,293	7.7	913	49.4	974	182.7	635	337.8
29年3月期第2四半期	18,836	△2.4	611	1.5	344	△39.3	145	△59.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 696百万円(-%) 29年3月期第2四半期 △947百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	42.43	—
29年3月期第2四半期	9.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	41,723	16,863	39.6	1,103.64
29年3月期	41,197	16,316	38.8	1,067.65

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,524百万円 29年3月期 15,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期(予想) 期末配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,200	△1.7	800	△17.7	780	△11.5	490	△16.9	32.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	15,533,232株	29年3月期	15,533,232株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	560,123株	29年3月期	559,337株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	14,973,656株	29年3月期2Q	14,974,525株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善にともない個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、回復基調が続いております。

世界経済につきましては、米国の景気は雇用関係の改善にともなう個人消費の増加等により成長が続き、欧州の景気も輸出の増加等により緩やかな回復基調が続いております。中国では金融市場の動向等懸念は残るものの、個人消費と輸出が堅調に推移し景気は持ち直しの動きが続いており、その他新興国においても景気は総じて持ち直しの動きがみられております。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、20,293百万円と前年同期と比べ1,456百万円の増加(前年同期比7.7%増)となりました。これにより、営業利益は913百万円と前年同期と比べ302百万円の増加(前年同期比49.4%増)、経常利益は974百万円と前年同期と比べ629百万円の増加(前年同期比182.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は635百万円と前年同期と比べ490百万円の増加(前年同期比337.8%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、ブラジル子会社の事業縮小による減少要因はありましたが、当社の受注増加や米国子会社における新製品立ち上げ等により販売は増加となりました。

その結果、売上高は14,241百万円と前年同期と比べ439百万円の増加(前年同期比3.2%増)となり、セグメント利益は631百万円と前年同期と比べ102百万円の増加(前年同期比19.4%増)となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、OA、印刷・製本業界向け等の販売は減少となりましたが、モーター、変・減速機、昇降・運搬、金属工作・加工業界向け等の販売は増加となりました。

その結果、売上高は5,411百万円と前年同期と比べ868百万円の増加(前年同期比19.1%増)となり、セグメント利益は120百万円と前年同期と比べ143百万円の増加(前年同期は23百万円のセグメント損失)となりました。

③ その他

その他では、売上高が640百万円と前年同期と比べ148百万円の増加(前年同期比30.3%増)となりました。セグメント利益は57百万円と前年同期と比べ53百万円の増加(前年同期は3百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、受取手形及び売掛金の増加等により28,201百万円(前期末比393百万円増)となりました。固定資産は主に、投資その他の資産の増加等により13,522百万円(前期末比132百万円増)となりました。その結果、資産合計は41,723百万円(前期末比526百万円増)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、支払手形及び買掛金の増加等により19,424百万円(前期末比395百万円増)となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により5,435百万円(前期末比415百万円減)となりました。その結果、負債合計は24,860百万円(前期末比19百万円減)となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により16,863百万円(前期末比546百万円増)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,251百万円(前年同期比360百万円増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益966百万円、減価償却費636百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は711百万円(前年同期比184百万円増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出780百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は814百万円(前年同期比607百万円減)となりました。これは主に長期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,782	7,433
受取手形及び売掛金	11,013	11,673
商品及び製品	3,026	2,626
仕掛品	3,040	3,513
原材料及び貯蔵品	2,070	2,089
繰延税金資産	284	263
その他	787	764
貸倒引当金	△197	△162
流動資産合計	27,807	28,201
固定資産		
有形固定資産	10,818	10,749
無形固定資産		
その他	330	321
無形固定資産合計	330	321
投資その他の資産	2,240	2,451
固定資産合計	13,389	13,522
資産合計	41,197	41,723
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,389	8,859
短期借入金	8,579	8,454
未払法人税等	188	207
賞与引当金	305	356
その他	1,565	1,546
流動負債合計	19,028	19,424
固定負債		
長期借入金	4,097	3,668
繰延税金負債	328	412
役員退職慰労引当金	663	676
関係会社整理損失引当金	87	83
退職給付に係る負債	86	93
資産除去債務	18	18
その他	570	483
固定負債合計	5,851	5,435
負債合計	24,880	24,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	12,090	12,575
自己株式	△348	△348
株主資本合計	15,445	15,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	827
為替換算調整勘定	△44	△212
退職給付に係る調整累計額	△56	△20
その他の包括利益累計額合計	541	594
非支配株主持分	329	338
純資産合計	16,316	16,863
負債純資産合計	41,197	41,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,836	20,293
売上原価	15,650	16,776
売上総利益	3,186	3,516
販売費及び一般管理費	2,574	2,602
営業利益	611	913
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	20	21
為替差益	—	48
不動産賃貸料	35	41
その他	53	49
営業外収益合計	122	167
営業外費用		
支払利息	87	78
手形売却損	2	2
為替差損	251	—
その他	46	26
営業外費用合計	389	107
経常利益	344	974
特別損失		
減損損失	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	344	966
法人税、住民税及び事業税	193	293
法人税等調整額	△12	15
法人税等合計	181	308
四半期純利益	163	657
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	145	635

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	163	657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	184
為替換算調整勘定	△1,205	△181
退職給付に係る調整額	39	35
その他の包括利益合計	△1,110	38
四半期包括利益	△947	696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△912	688
非支配株主に係る四半期包括利益	△34	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	344	966
減価償却費	636	636
のれん償却額	△2	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	50
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	48
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	54	6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	26	13
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△3	△3
受取利息及び受取配当金	△32	△28
支払利息	87	78
為替差損益 (△は益)	144	△1
持分法による投資損益 (△は益)	0	0
減損損失	—	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△535	△718
たな卸資産の増減額 (△は増加)	238	△151
仕入債務の増減額 (△は減少)	△151	513
その他	264	193
小計	1,065	1,571
利息及び配当金の受取額	31	28
利息の支払額	△77	△78
法人税等の支払額	△213	△299
法人税等の還付額	84	28
営業活動によるキャッシュ・フロー	890	1,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,556	△1,576
定期預金の払戻による収入	1,551	1,571
有形固定資産の取得による支出	△481	△780
有形固定資産の売却による収入	3	16
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
貸付けによる支出	△3	—
貸付金の回収による収入	—	0
その他	△38	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△527	△711

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,485	3,179
短期借入金の返済による支出	△4,179	△3,129
長期借入れによる収入	100	148
長期借入金の返済による支出	△553	△752
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△149	△149
非支配株主への配当金の支払額	△20	—
その他	△104	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,421	△814
現金及び現金同等物に係る換算差額	△398	△79
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,456	△354
現金及び現金同等物の期首残高	6,189	6,174
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,732	5,820

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,801	4,542	18,344	491	18,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	2	35	—	35
計	13,834	4,545	18,379	491	18,871
セグメント利益又は損失(△)	529	△23	506	3	509

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	506
「その他」の区分の利益	3
内部取引消去	△11
棚卸資産の調整	109
減価償却費の調整	3
全社費用(注)	0
四半期連結損益計算書の営業利益	611

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,241	5,411	19,652	640	20,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41	2	43	—	43
計	14,282	5,413	19,696	640	20,336
セグメント利益	631	120	751	57	808

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	751
「その他」の区分の利益	57
内部取引消去	△20
棚卸資産の調整	123
減価償却費の調整	3
全社費用(注)	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	913

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失につきましては、重要性が乏しいため記載を省略しております。